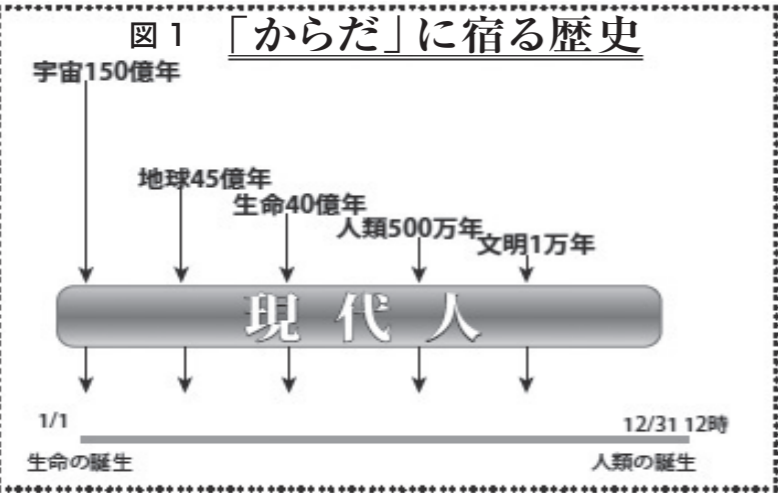


人は楽しむために生まれてきた



お釈迦さんの最期の言葉「怠るな」の本質を導き出し、
これからの日本、人類のあるべき姿を提案する

たまご保育園

たまごビル
院長 石垣 邦彦



〒581-0061
大阪府八尾市春日町1-4-4
電話072 (991) 3398
FAX072 (991) 4498
ホームページアドレス
http://www.tamagobl.com/

たまご理論で病気の
しくみを考える

日本国民への提言

55

日本の国民一人ひとりが、自らの「からだ」の「しくみ」を生かすことで、日本を再生する

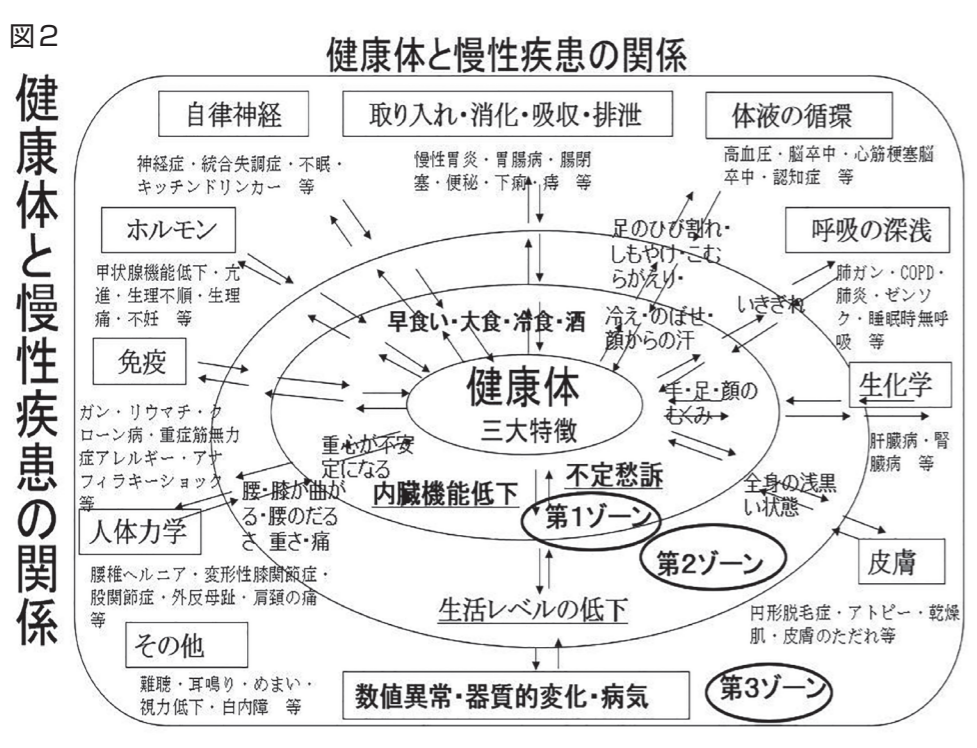


表2 人は楽しむために生まれてきた！
～人間の生死は「上腹部のやわらかさ」が指標となる～

ROB治療で「上腹部のやわらかさ」がやわらかくなると…
「入り出」がととのい、深く長くここちよい呼吸ができる

- 呼吸が深くない
- 循環が良くない
- 人体力学が安定し
- 自律神経がととのい
- 内臓全般の動きが活発になる

- 生きる力がつく ⇒ 生き方が身につく
- 総合的免疫力がつく ⇒ 予防ができる
- 自然の治癒力がつく ⇒ 治療が的確に
- 自然なバランス力がつく ⇒ 自然なケア
- 自然な死への流れができる ⇒ 穏やかな死

■人間の体の自然な「しくみ」が生かされ
ROB 医療で人生が統合される！！

大阪万博に基本理念を提案する

西郷隆盛は腕を組んで、じっと坂本龍馬を凝視し続けた。しかし、胸にケサリとんものがあった。それはいま坂本がいった「いまの時代は団子をひとつずつ串にさしてはダメだ。思い切って串を抜き団子を横一列に並べて、一度に食べるような対応策を講ずなければ間に合わない」という一言である。西郷は、たしかにその通りだと思った。とありました。

【今までの日本人のあり方・日本の医療では解決できない諸問題】と題し現状を分析し、数多くの問題（平成35年には54兆円の医療費・現在でも社会保障給付費11兆円・国家財政1000兆円をこえる赤字・薬害・少子高齢社会などを列挙しました。

実際に5兆から8兆に、3%の消費税増税をおこなうにも大変なわけです。

だが、こう考へても日本人が今までの「生き方」を考へていくには、到底解決できないことだ。もちろん今までの医療の在り方では成り立たないのは明らかです。ひとつの問題を一つ一つ解決しようとしても解

決はできません。多数の諸問題を串刺しにする原理が必要とされています。

「わたしたち人間は、「生きもの」です」と題し、人類の歴史(図1)とよりの「いのち」を確かにつなぐための「表1」特(1)～(4)の連続で「わたしたち人間も限りあるいのち」という事実を、その「生きもの」としての立場を踏まえ、「生きもの・死にゆく」という重要な存在そのものの意味を述べました。

「わたしたち人間の一生とは、「いのち」をつなぐこと」であり、生きる・死ぬ目的は「いのち」をつなぐことにある。この「いのち」を「いのち」を「いのち」としてつなぐことには、同時に解決する必要があります。そしてそれぞれに、その解決策を述べました。

【人間の「老化」と「死」は、「いのち」をつなぐ大切な役割】であり、その意味がわれわれ人類も一年草の草花と同じである。そのすばらしい役割を理解せよ。

①「老化と死の問題を医療に丸投げすること」は患者・医師双方に解決できない問題を発生させ、副作用がでる。

②「生きもの」の本質(いのち)をつなぐことを見失っているために多くの問題が生まれている。を述べました。

【「日本国民に告ぐ」】
「一般に多くの困難を解決しようとする場合、一つ一つ着実に解決しようとするのは誰でも考えうることであり、大抵の場合、努力がかなうはかりで成功しない。多くの困難が噴出してきているのは、それら全てを貫く何か一つの原理が時代や状況にそぐわなくなっているということを意味する。したがってこの原理を再考する。諸困難を一気に解決する、というのが最も効果的なのはかりか容易であるのだ」
また、さらに2008年3月15日号で紹介しましたが今回再度、紹介します。

このように本紙で2回にわたり、同じ趣旨の内容を紹介しました。諸問題を一つひとつでなく、ひとつの原理で串刺しにして同時に解決する必要があります。そしてそれぞれに、その解決策を述べました。

【健康体から慢性疾患を考へる意義】と題し多種類の慢性疾患をたまご理論という考え方で同時解決する考えを述べました。

このこと(坂本龍馬と西郷隆盛の団子の話)は、まさに、現代の医療の慢性疾患に対する治療法と同じだと思います。

高齢化とともに、次々と多種類の慢性疾患の病が生じる。この「1つ」の症状を抑えるためのクスリがそれぞれに処方され、その結果として強い作用の物質を受け入れる体は、一つ一つのクスリが起る。副作用がでる。

「健康体から慢性疾患を考へる意義」と題し多種類の慢性疾患をたまご理論という考え方で同時解決する考えを述べました。

このこと(坂本龍馬と西郷隆盛の団子の話)は、まさに、現代の医療の慢性疾患に対する治療法と同じだと思います。

高齢化とともに、次々と多種類の慢性疾患の病が生じる。この「1つ」の症状を抑えるためのクスリがそれぞれに処方され、その結果として強い作用の物質を受け入れる体は、一つ一つのクスリが起る。副作用がでる。

「ここに「健康体」から慢性疾患を考へる新しい医療の方法論(図2)の意義があるのです。難しいことではありません。たゞ、坂本龍馬のように発想を転換すればいいのです。なるほどクスリに頼る限りそれは難しい。しかし、内臓調整により「健康体」の特徴として「上腹部がやわらかい」状態を取り戻せば、「呼吸・循環・自律神経」人体学内臓全般の動きがととのい(表2)「からだ」の「しくみ」がスムーズにはたらく。状態となり、多種類の慢性疾患という団子を一気に食べることが出来る。ほとんどクスリをなくして、多数の慢性疾患をよくすることが出来るのです。

約300年前に「解體新書」を著した杉田玄白や「養生訓」で有名な貝原益軒の時代は、より薬効のよくなる漢方薬を使っていた。

しかし、この二人は口をそろえてクスリはあまり使わないほうがいいと断じています。なぜかという、日々、口に入れる食物に比べて、漢方薬といえども体にとってはあまりに偏ったものだからです。現代の化学薬品であるクスリはそれと比べ、よみがえない成分が偏っています。それなのに慢性疾患に苦しむ人にとっては十種類余りもたらすとクスリが処方されるのは、異常としか言いようがありません。

一般の人にとっては、あれこれ処方されるクスリについてはなにか分らない感じがしますが、そのことについては「一般の人だけではありません。慢性疾患については、医師だってその本体が何かわかりません。

まるでパベル景気の時の社会状態と同じです。金融の専門家ですら、おかしなこと二枚の不安を抱きつつ、ベルトコンベヤーに運ばれ、奈落の底に落ちたのです。現代医療の慢性疾患に対する状態も全、同じことです。

「ここに「健康体」から慢性疾患を考へる新しい医療の方法論(図2)の意義があるのです。難しいことではありません。たゞ、坂本龍馬のように発想を転換すればいいのです。なるほどクスリに頼る限りそれは難しい。しかし、内臓調整により「健康体」の特徴として「上腹部がやわらかい」状態を取り戻せば、「呼吸・循環・自律神経」人体学内臓全般の動きがととのい(表2)「からだ」の「しくみ」がスムーズにはたらく。状態となり、多種類の慢性疾患という団子を一気に食べることが出来る。ほとんどクスリをなくして、多数の慢性疾患をよくすることが出来るのです。

約300年前に「解體新書」を著した杉田玄白や「養生訓」で有名な貝原益軒の時代は、より薬効のよくなる漢方薬を使っていた。

しかし、この二人は口をそろえてクスリはあまり使わないほうがいいと断じています。なぜかという、日々、口に入れる食物に比べて、漢方薬といえども体にとってはあまりに偏ったものだからです。現代の化学薬品であるクスリはそれと比べ、よみがえない成分が偏っています。それなのに慢性疾患に苦しむ人にとっては十種類余りもたらすとクスリが処方されるのは、異常としか言いようがありません。

一般の人にとっては、あれこれ処方されるクスリについてはなにか分らない感じがしますが、そのことについては「一般の人だけではありません。慢性疾患については、医師だってその本体が何かわかりません。

まるでパベル景気の時の社会状態と同じです。金融の専門家ですら、おかしなこと二枚の不安を抱きつつ、ベルトコンベヤーに運ばれ、奈落の底に落ちたのです。現代医療の慢性疾患に対する状態も全、同じことです。

【たまご保育園児の心得】

- ①正しい生活習慣を身につけて元気な子どもになります。
- ②人に、物に、全体的環境に感謝できる子どもになります。
- ③自らの考えを持ち、自らを表現できる子どもになります。

たまご保育園の園児である私たちは自らの「からだ」と「いのち」をこの「え」の家庭・地域・日本・地球環境に貢献してゆきます。

この大きな目標をもって日々の生活に精進してゆきます。